

第4回 豊田市教育行政計画審議会 次第

日時 令和7年6月12日(木) 午後1時30分から3時30分まで

場所 豊田市役所東庁舎6階 教育委員会会議室

	頁
1 教育長あいさつ	—
2 会長あいさつ	—
3 新任委員の自己紹介(3名)	1
4 会議録署名者の指名	—
5 確認事項	
(1) 令和7年度(仮)第5次豊田市教育行政計画策定スケジュールについて	2
(2) (仮)学びの大綱(案)及び(仮)第5次豊田市教育行政計画(素案)のパブリックコメントの実施概要について	3
6 議 題	
(1) (仮)第5次豊田市教育行政計画の取組の方向性と取組について	4
(2) (仮)第5次豊田市教育行政計画(素案)について	【別冊】
・第1章 計画策定にあたって	
・第2章 計画の基本的な考え方	
・第3章 取組の方向性	
・第4章 計画の推進	
【協議ポイント】	
・図書素案の掲載内容の妥当性について	
(3) (仮)第5次豊田市教育行政計画のキーワードについて(案)	5
7 報 告	
(1) 魅力ある教育環境づくりについて	
8 その他	
今後の審議会日程(予定)	
第5回 令和7年 9月19日(金) 午後1時30分～(2時間程度)	
答 申 令和7年10月 9日(木) 午前10時～(1時間程度) ※会長のみ	

豊田市教育行政計画審議会委員名簿

任期：令和6年7月22日 ～ 令和8年3月31日

番号	氏名	就任年月日	新任 再任	所属等
1	いむら みほ 井村 美穂	令和6年7月22日	<input checked="" type="checkbox"/> 再任	NPO法人子どもの国 理事長
2	えんどう にいな 遠藤 仁菜	令和6年7月22日	新任	日本福祉大学 学生
3	おおえ かおり 大江 香織	令和6年7月22日	新任	株式会社ハイパーブレイン 教育DX推進部 取締役部長
4	かとう あきら 加藤 章	令和6年7月22日	新任	豊田市区長会 理事
5	かとう ともかず 加藤 智和	令和6年7月22日	新任	豊田市こども・若者総合相談 センター センター長
6	かのう としかず 加納 俊和	令和7年6月12日	新任	一般社団法人豊田青年会議所 副理事長
7	きうら あつし 木浦 敦	令和6年7月22日	新任	豊田市PTA連絡協議会 顧問
8	さくらい なおき 櫻井 直輝	令和6年7月22日	新任	放送大学教養学部 准教授
9	すずき ともこ 鈴木 智子	令和6年7月22日	新任	地域学校共働本部 コーディネーター
10	なかだ ひでなり 仲田 英成	令和7年6月12日	新任	豊田市小中学校長会 会長
11	のぎま のりこ 野崎 典子	令和6年7月22日	新任	市民公募委員
12	のだ あつのり 野田 敦敬	令和6年7月22日	<input checked="" type="checkbox"/> 再任	愛知教育大学 学長
13	まきの あつし 牧野 篤	令和6年7月22日	<input checked="" type="checkbox"/> 再任	大正大学地域創生学部 教授
14	まつの えり 松野 絵里	令和6年7月22日	新任	市民公募委員
15	やまもと あきひこ 山本 昭彦	令和7年6月12日	新任	愛知県へき地教育研究協議会 事務局長
16	わかこ りえ 若子 理恵	令和6年7月22日	<input checked="" type="checkbox"/> 再任	豊田市こども発達センター セン ター長

(50音順)

令和7年度（仮）第5次豊田市教育行政計画 策定スケジュール

対象	令和7年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市民				パプコメ・Eモニター実施 子どもワークショップ 校長会議			パプコメ 結果報告 中旬			広報原稿	広報校正	広報掲載
議会・庁内		部長会議 5/13 議会説明 5/28 総合教育会議		議会説明		第4次進捗 点検評価報告 月上旬		部長会議 ⇒⇒⇒ 議案説明	議案上程 月上旬			図書報告 月上旬
教育委員会	協議会協議 4/30	定例会審議決 委員委嘱議決 5/28	定例会報告④ 素案報告		協議会協議 8/20	定例会報告⑥ 9/24	定例会議決 10/29					計
審議会		審議会④ 6/12	計画書素案		答申案	審議会⑤ 9/19	答申 10/9					画
推進会議	推進会議⑤ 5/9	図書素案各課修正①	図書素案各課修正②	⇒⇒⇒ Eモニター回答作成 中旬～下旬	推進会議⑥ 8/12 中旬～下旬	図書素案各課修正③ パプコメ回答作成						図
広報・PR		広報原稿 5/12	広報校正 6/5	議員報道発表 HP掲載依頼 7/1						広報原稿 1/9	広報校正 2/3	書 7/1 完
図書作成		イラスト・映像 図書・映像 制作委託					図書印刷原稿渡し					成

(仮) 学びの大綱 (案) 及び

(仮) 第5次豊田市教育行政計画 (素案) のパブリックコメントの実施概要

1 パブリックコメント手続の目的

- 意思決定過程における政策等の説明と公表による**公正の確保と透明性の向上**
- 市の意思決定過程における市民意見の募集による**市民参加の推進**

2 パブリックコメント概要

(1) 意見募集概要

(仮) 学びの大綱 及び (仮) 第5次豊田市教育行政計画を策定するにあたり、その素案を公表し、市民から意見を募集する。

< (仮) 学びの大綱 >

令和7年5月28日に開催された総合教育会議で協議され、確定した案

< (仮) 第5次豊田市教育行政計画 >

第4回教育行政計画審議会での審議を踏まえて取りまとめ予定の計画素案

(2) 資料閲覧・意見募集期間

令和7年7月1日(火)～令和7年7月31日(木)

※広報とよた7月1日号に記事掲載予定

(3) 資料閲覧方法

- ・市政情報コーナー、各支所・出張所、各交流館、青少年相談センター、青少年センター、教育政策課の窓口
- ・豊田市役所ホームページ

(4) 結果公表時期 (予定)

審議会 第5回教育行政計画審議会 (次回)

ホームページ 令和7年10月中旬

広報とよた 令和8年3月1日号 (計画の公表と併せて掲載)

(5) その他 (同時期に実施予定)

7月上旬 Eモニターへの意見募集アンケート

7月 校長会議へ意見募集

7月下旬～8月上旬 子どもワークショップ

(仮)第5次豊田市教育行政計画の取組の方向性と取組について

No.	取組の方向性	No.	取組	内容	所管課
1	自他を尊重する心を育む教育の推進 自らと他者の命、人権の尊厳を理解し、多様な個性や立場の違いを認め合い、学び合い、支え合える社会の実現のため、道徳教育・人権教育を推進します。学校だけでなく、専門家や地域と共に市全体で子どもたちを守ります。	1-1	ハートサポートプログラムの充実	子どもの権利に関する理解と啓蒙など、子どもの命を守るための取組「ハートサポートプログラム」を充実します。	学校教育課
		1-2	いじめ防止対策のための総合的な取組	地域社会全体でいじめの防止に取り組み、子どもたちが安心して過ごせるまちを目指します。	青少年相談センター
		1-3	道徳教育・人権教育の充実	学校教育活動全体で道徳教育や人権教育を推進します。	学校教育課
2	学ぶ楽しさを知り自らの可能性を広げる学校教育の推進 学習方法の工夫・改善やICT機器の活用、教育データの分析・利活用等を通して、個別最適な学び・協働的な学びを推進し、誰一人取り残すことなく、一人ひとりに合った資質・能力を育成する教育を推進します。	2-1	「主体的・対話的で深い学び」の推進	子どもの権利に関心の高い市民団体や企業・事業所等と共働し、子どもの権利の理解を広める取組を実施します。市民と共働することで、子どもの権利を理解する市民のすそ野を広げます。	子ども・若者政策課
		2-2	ICT機器や教育データの利活用の推進	学習指導要領で育成を目指す資質・能力の三つの柱「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を育むため、「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導方法の工夫・改善に取り組みます。	教育センター
		2-3	新しい教育システムの導入の検討	ICT機器を活用した授業づくりや、教育データの分析や利活用を進めることで、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、新しい学びのスタイルを取り入れます。	教育センター
3	誰もが自分らしく学べる教育環境の確保 生活や学習上の困難さをもつ児童生徒の増加、多様化する教育ニーズ、外国人児童生徒の多国籍化・散在化等に対応するため、環境整備を進めるとともに、教室以外の子どもたちの居場所の選択肢の拡充や、教職員の専門性を高めることで、誰にとっても学びやすい教育環境を整えます。	3-1	ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりの推進	小中一貫教育等、これからの時代の学びを実現するための新しいシステム（仕組み）の導入を検討します。	教育政策課 （教育センター・学校教育課）
		3-2	居場所づくりの推進	全ての子どもたちが、共に学び合うことができるユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりや学習基盤づくりを進めます。	教育センター
		3-3	特別支援教育の推進	不登校や引きこもり等、困難を抱える人の社会的自立に向けて、学びの機会の充実と社会性や自立性を育成する活動内容や居場所の充実を図ります。	青少年相談センター・子ども相談課
		3-4	外国人児童生徒等教育のさらなる充実	障がいや発達に特性のある子どもが、将来にわたって地域で安心して生活することができる「共生社会」の実現に向けたインクルーシブ教育システムの構築を推進していきます。	青少年相談センター
		3-5	経済的理由により就学・進学が困難な子どもや家庭等への支援	プレスクール事業や「ことばの教室」での日本語指導の充実を図ります。また、外国人児童生徒等の増加と多国籍化、散在化へ対応するため、各小中学校へのサポート体制の充実を目指します。	学校教育課
4	安全・安心で新しい時代の学びを実現する環境づくり 新しい時代の学びを実現するために、柔軟で創造的な学習空間や地域との連携・共働する共創空間等、子どもたちが学びたくなる教育環境を整えます。また、誰もが安全・安心で快適な学校生活を送ることができる環境づくりを進めます。	4-1	次世代の学びを支える環境整備	経済的な理由で、就学・進学に支障をきたす可能性がある子どもや家庭等に対し支援を行います。	教育政策課、学校教育課
		4-2	学校施設等における脱炭素化の推進	地域日本語教育の基本方針に基づき、地域社会で円滑な日常生活を送るために必要な日本語を習得するため、乳幼児期から切れ目のない日本語学習支援施策を展開し、相互理解と意思疎通の円滑化を推進します。	多様性社会共創課
		4-3	給食センターの整備の推進	学校施設の機能維持のため、適切な保全改修を進めるとともに、将来的な長寿命化の在り方を検討します。また、新しい時代の学びを実現する環境の整備に取り組みます。	学校づくり推進課・保健給食課
5	子どもに向き合い、寄り添える学校環境づくり 教職員が子どもと向き合う時間を生み出し、子どもが安心して学校生活を送ることができる学校環境づくりを進めます。	5-1	きめ細かな教育の推進	脱炭素社会の実現に向け、これまで未設置だった学校施設等への太陽光発電設備の新設や照明LED化等を進めます。	保健給食課
		5-2	教職員の働き方改革	子どもたちに給食を長期安定的に提供できるよう、老朽化した給食センターの再整備を推進します。	学校教育課
		5-3	自律的に学び続ける教職員の育成・支援	個に応じたきめ細かな教育を推進するため、少人数級とともに、少人数指導の方法の工夫改善や非常勤講師等の効果的な配置を進めます。	学校教育課
6	生涯にわたり学び続ける機会の充実 本市の充実した教育施設や交流館、多様な人材を最大限活用して、いくつになっても学び続ける機会や場を充実させます。	6-1	誰もが学び続けられる仕組みづくりと場づくり	業務の見直しや外部人材の活用、学年・チーム担任制などの導入も検討しつつ、校務DXにより働き方改革をさらに進めます。また管理職の意識改革を進め、マネジメント力を強化します。	学校教育課
		6-2	学校の「学びの拠点」への転換についての検討	「豊田市教員人材育成プラン」を踏まえ、キャリアステージやニーズに応じた多様な研修とOJTを充実します。	教育センター
		6-3	時代に対応した子ども読書活動の推進	教育施設や交流館を拠点に学び合いやつながり合いを育み、教育資源を生かした学びの機会づくりを進めるとともに、本市の多様な学びの機会を見える化します。また、各拠点において、学びやつながりをコーディネートし、誰もが学び続けられるよう支援します。	学び体験推進課・地域交流課・子ども・若者政策課・図書館管理課・スポーツ振興課
		6-4	全ての人にやさしく、誰もがワクワクできる「知の拠点」の実現	学校を多様な主体が出会い・交わる「学びの拠点」への転換について検討をします。	教育政策課
7	郷土を愛し地域とともに学ぶ共働の促進 本市の豊かな地域（教育）資源を生かした「遊び・学び・体験」の機会の充実させ、家庭・学校・地域による共働をさらに促進することで、地域全体で子どもの学びを支えます。	7-1	コミュニティ・スクール/地域学校共働本部の体制の充実	子どもが読書に親しみ、多様な情報媒体を主体的に活用していくことができるよう、学校・図書館が連携して子どもの意見を反映した読書活動を推進します。	図書館管理課
		7-2	WE LOVEとよた教育プログラムの充実	市民の知的好奇心を満たし、心安らく居場所となる図書館を目指し、誰もが読書に親しめる中央図書館となるよう環境整備と人材育成に取り組みます。	図書館管理課
		7-3	ものづくり教育の推進	地域と学校が連携・共働し、地域全体で子どもの成長を支えていく組織の活動を推進し、地域ぐるみの教育を推進します。	学校教育課
		7-4	豊田市の特色を生かした魅力ある学校給食の推進	子どもが郷土を愛する心や学びに向かう力を育むため、関係課等と連携した教育プログラムを構築し、学校による豊田市の教育資源の活用を推進します。（仕組みの見直し再整理、学校教育・社会教育の整理）	学校教育課、学び体験推進課
8	新たな社会の創り手となる資質・力を育む機会の創出 子どもたちにとって身近な課題について考える機会や、意欲・関心に応じて社会参画のきっかけとなる機会を提供します。また、「好き」や「得意」をさらに伸ばす講座等を充実します。	8-1	特色ある学校づくりの推進	学校カリキュラムの中で関連付けたものづくり体験を、ものづくりサポーターの支援を受けながら実施します。	学び体験推進課
		8-2	企業・大学等連携による科学技術講座やキャリア教育講座等の充実	子どもたちが給食を通して社会とのつながりに関心をもてるよう、地産地消やSDGsを推進する豊田市の特色を生かした給食を提供します。	保健給食課
		8-3	若者の社会参加の促進	現地現物の観察や対話を通して「考える力」と「表現する力」を育み、子どもたちが郷土の歴史・文化・自然に興味・関心をもつきっかけとなるよう、学習指導要領や学習進度に沿ったプログラムを充実し、博学連携学習を2026年度の夏以降、学校教育の一環として学校が実施してきた「学校部活動」を社会教育の一環として地域主体で実施する「とよた地域クラブ活動」へ移行します。	博物館
		8-4	グローバル人材の育成	国際理解教育を推進し、グローバル人材の育成を目指します。	学校教育課
関連取組	国際交流の機会創出と人材育成	姉妹都市との交流を通して、学生の相互派遣や周年記念事業等により国際交流の機会創出と国際人材の育成を図ります。また、姉妹都市に限らない関係のある海外都市との国際交流や、外国人住民との地域内交流の機会を生かし、国際感覚の醸成及び地域社会で活躍する国際人材の育成を進めます。	多様性社会共創課		

(仮) 第5次教育行政計画のキーワードについて (案)

- 学習指導要領の方向性等を踏まえ、第3次豊田市教育行政計画では、「地域ぐるみで学び合い」、第4次豊田市教育行政計画では、「未来を拓く学び合い」をキーワードとして、取り組んできました。
- (仮) 第5次豊田市教育行政計画では、国の第4期教育振興基本計画や、第9次豊田市総合計画を踏まえ、教育大綱を大幅に見直しました。

1 関連計画等

<第4期教育振興基本計画(抜粋)>

- ・一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、**多様な人々と協働**しながら様々な社会的変化を乗り越え、**豊かな人生を切り拓き**、「持続可能な社会の創り手」になることを目指すという考え方が重要である。
- ・ウェルビーイングの実現とは、**多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じる**とともに、**地域や社会が幸せや豊かさを感じられる**ものとなることであり、教育を通じて日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図っていくことが求められる。

<第9次豊田市総合計画 ミライ実現戦略2030(抜粋)>

- ・「こども起点」でまちづくりを考えるという視点に注力し設定された「目指す姿」
【取組目標①】・こどもがミライを**生き抜く力と自己肯定感**を高めている
・**人生100年時代に誰もが学び合い**を通じていきいきと暮らしている
【取組目標②】・誰もが地域・多世代でともに**つながり合い**ながら暮らしている

2 (仮) 学びの大綱

- ・上記関連計画を参酌し、教育大綱を名称「(仮) 学びの大綱」、「基本理念」、「めざす学びの姿」すべてを大幅に見直した。

3 次期計画のキーワードについて

- ・(仮) 学びの大綱 の「基本理念」を大切にし、別のキーワードは設定しない。

つながりの中で、誰もが学び合いながら、
自分らしく豊かな人生を切り拓く